

ロンドンから
ですって……！
まあどうりで
気品が……
あの服ごらん
なさいましよ



きみ……あの
かたたちは
……

本日午後
ロンドンから
このホテルへ
お着きになった
ポーツネル男爵の
ご一家です











きみの
病気が
なおるまで

いつまで
この市に
いるの？



父さまと
ケンカしたの？

いつもの
ことさ
気おんは？



おきてた？



ぼくは
いいんだから

たおれるまで
がまんせずに
そういいなさい…



ぼくの血を
のむ？

悪いわ…この
ところいつも
だもの…



あたし
病気じゃ
ないわ…

だまって
休んどいて



メリーベル…
かわいそうな
メリーベル

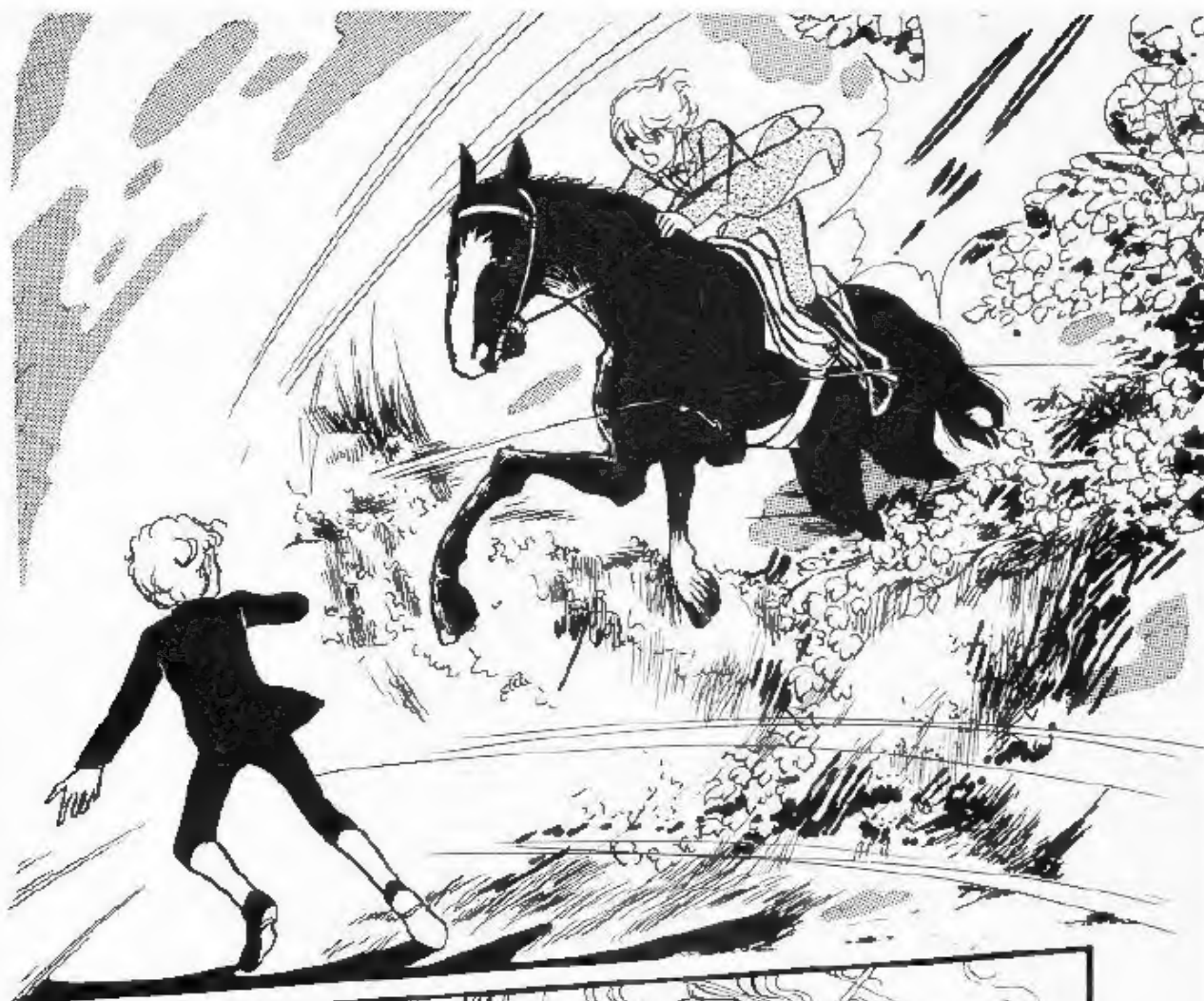


日びが
あのまま
過ぎて
いたら…

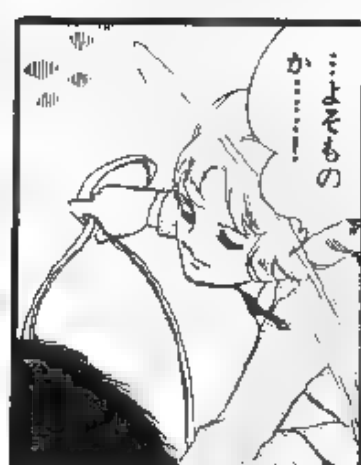
ぼくなどの
ために
こんなめに
あわずに
すんだのに…

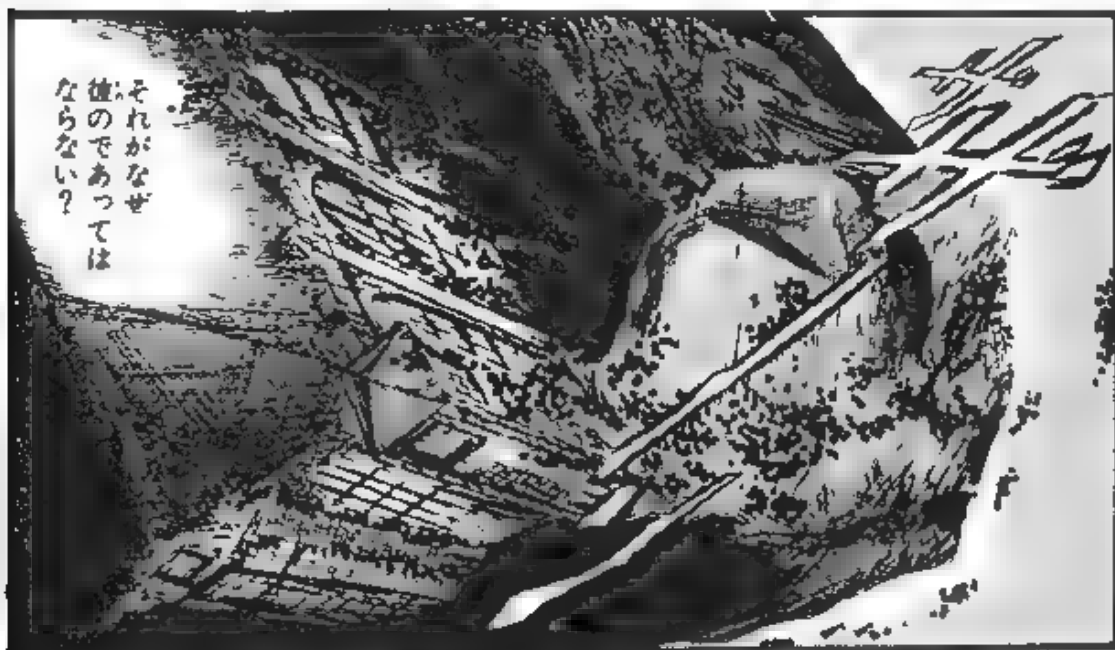
こんな
呪われた身で
生きるめに
あわずに…

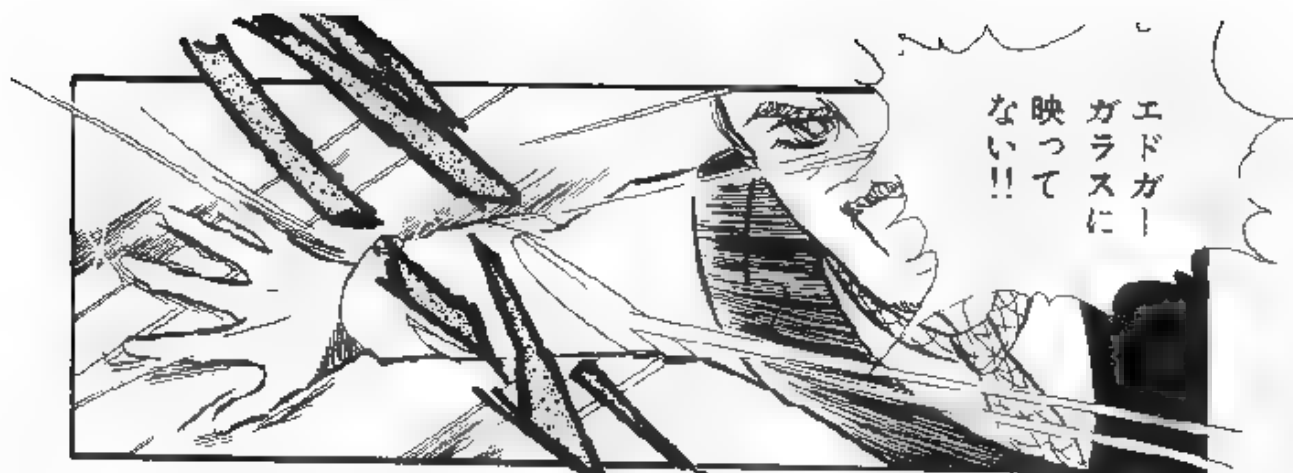












エドガー
ガラスに
映って
ない!!



胸にクイを
うちこまれ
たくなかつたら

つねに人間で
あるふりを
忘れるな!

ようし
それでいい



ヒクッ!



息をしている
ふり…脈の
あるふり…

鏡に映る
ふり
トアに指を
はさまれたら
いたがる
ふり:

それくらい
できる
やってみせるよ



アラン・
トワイライト



…友だちを
つれてくるよ

ほんと?
だれを?

兄さまが
学校にいったら
あたしはずっと
ひとりだわ

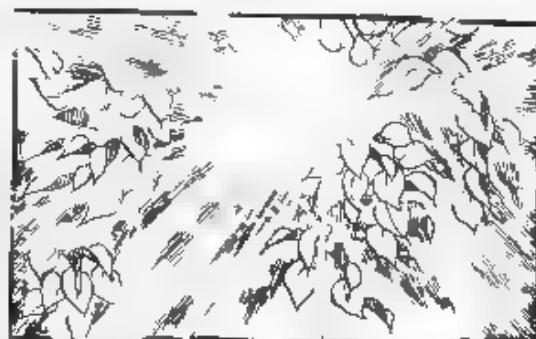
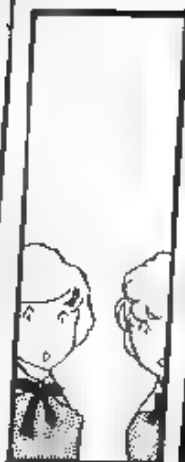


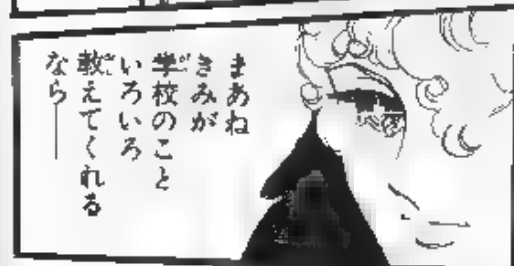
ようしでは
やってみろ



つまら
ないわ

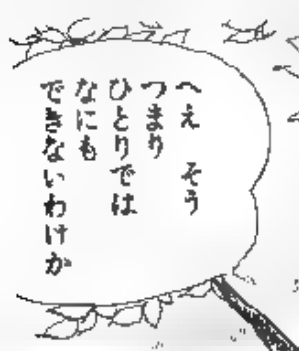








アラン・トワイ
ライトの規律、
上段に
かまえて
なにをしよう
ってんだい
ハから
しい、



へえ そう
つまり
ひとりでは
なにも
できないわけか



ぼくが
ひとこと
いえ



この市
この港中が
その配下に
あるんだ

！ぼくが
十八になったら
うけつぐ財産は
今おじが
管理してて



あんの
転入生
なんて
いった



えっ
あ…エドガー！
ポーツネル？

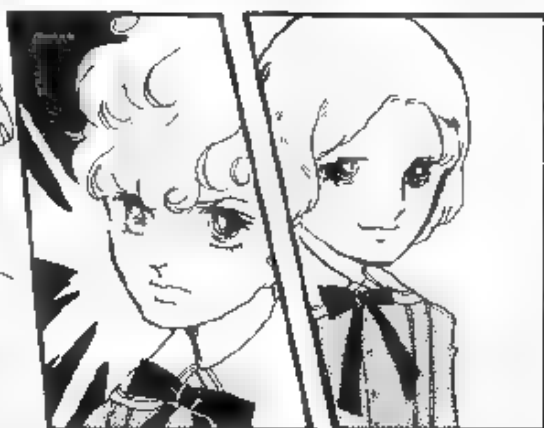
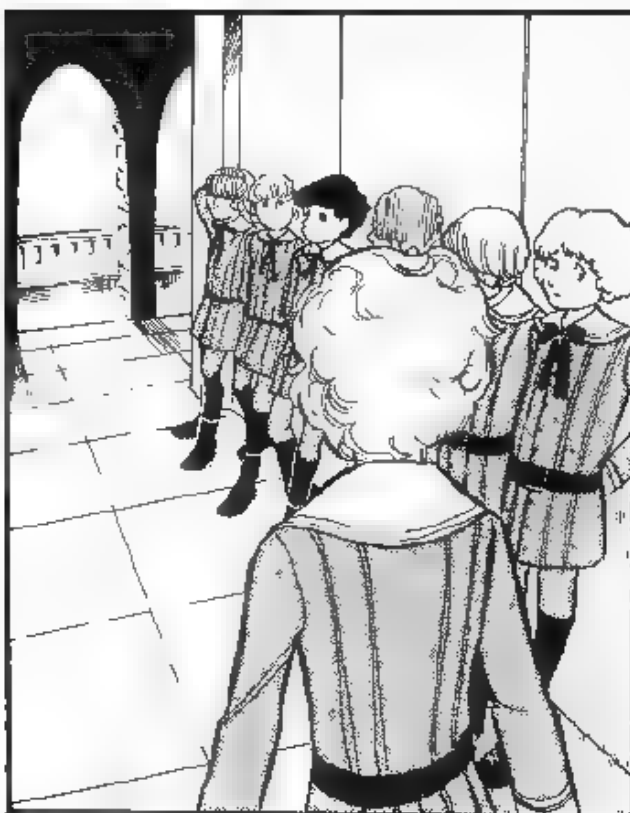
転入生だよ



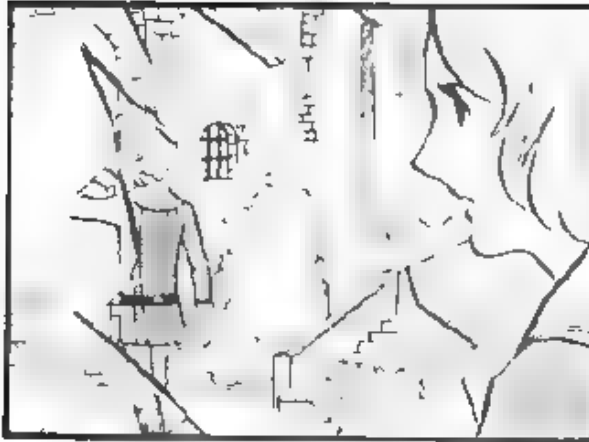
ぼくにそんな
くちを…
きいたら
なんだい
気に入ら
ないやつ
なら
ぼくなら
この手で
しまつを
つける

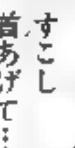


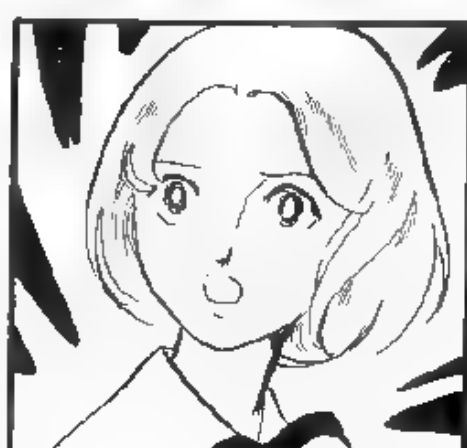
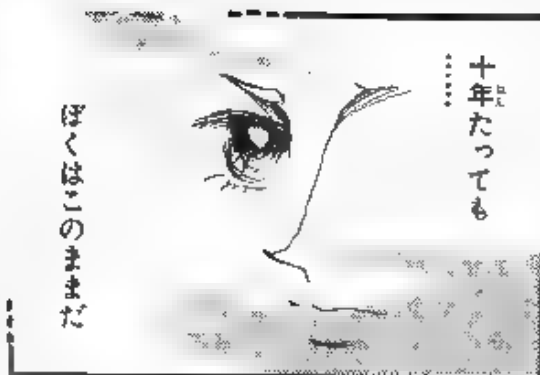
ふ
もうすこ
まじなやつかと
思ってたが
ハイ！家で妹の
おもりしてたほうが
ずっと意義が
ありそうだ















エドガー
よけいな手を
だすんしや
ないぞ！

一時が
通りすぎていく

十年たつても
おなじ朝を
迎え……



わかってるよ
一族にくわえるには
成人でなければ
だめだってことはね
ぼくたちを
つれてるおかげで
父さまたちは
おなじ土地に
二年つづけて
いられない

へんね
あの男爵さまの
ごきょうだいは
すこしも成長
なさらないようね



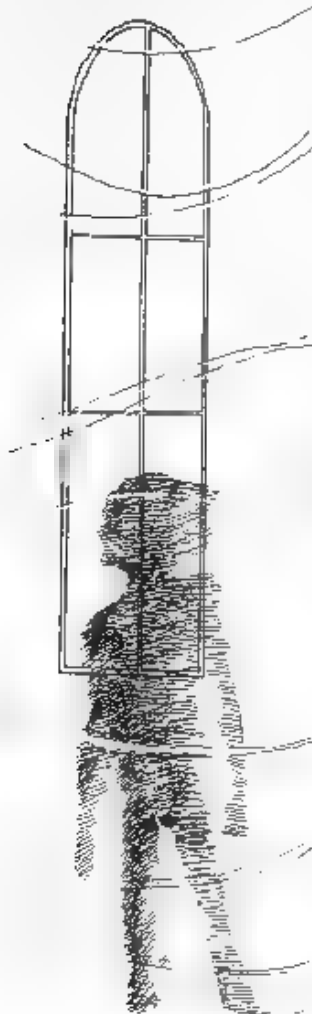
じゅう
じゅう
わかつ
てるよ！

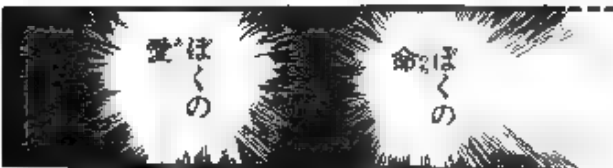


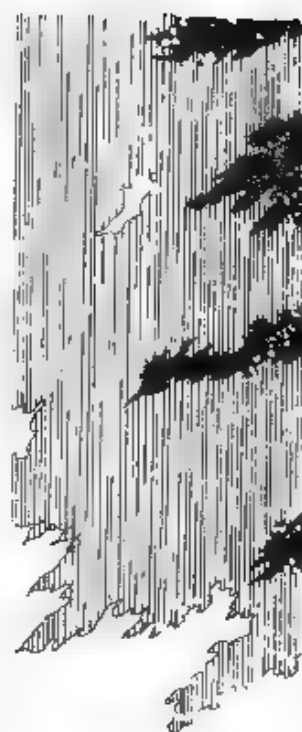
でも ぼくが
どんなに孤独か
あなたがたには
わかるまい

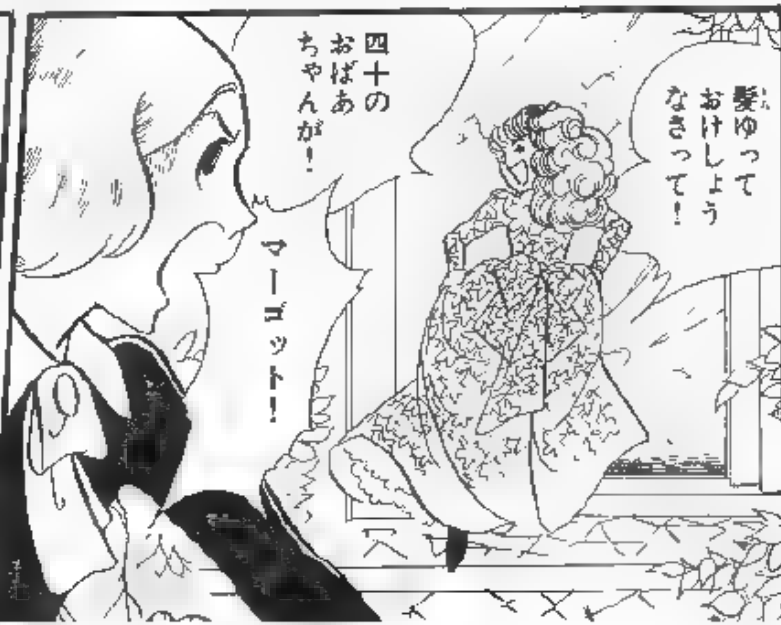
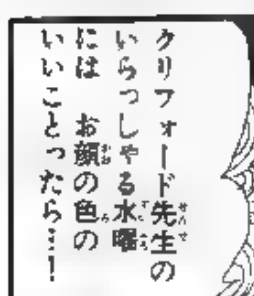
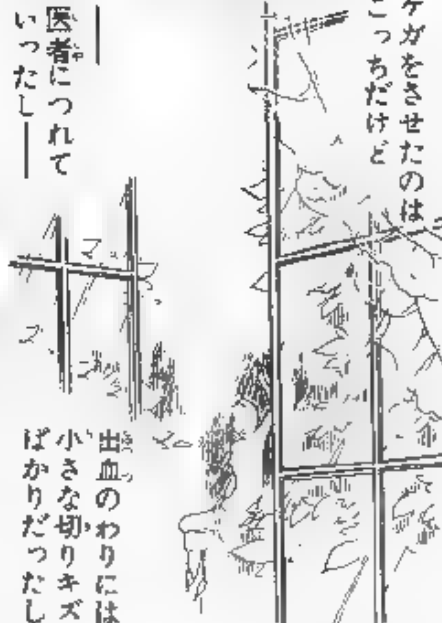
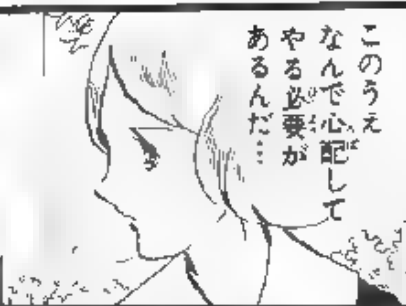


どならんでも
きこえる
わかつてりや
いい！

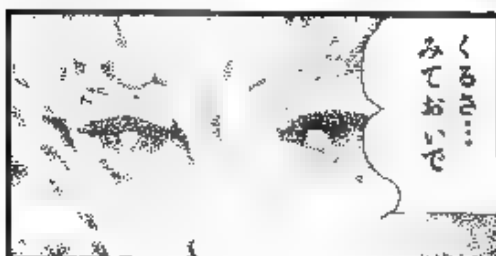




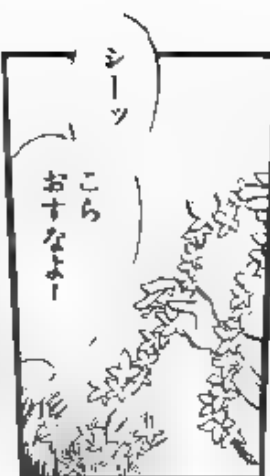




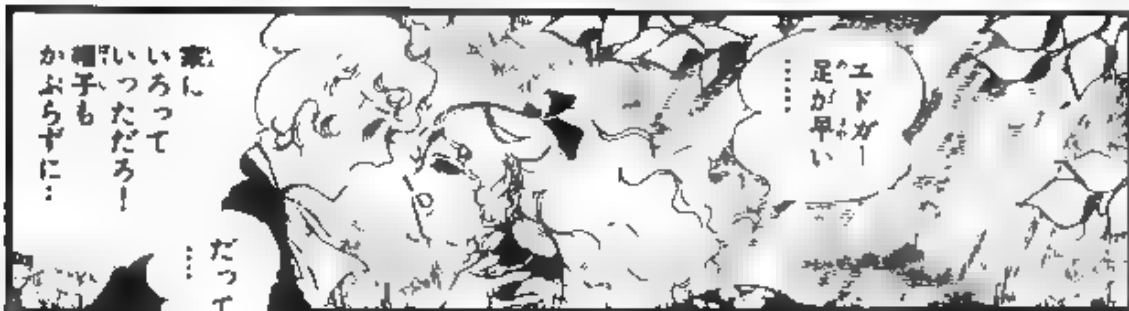
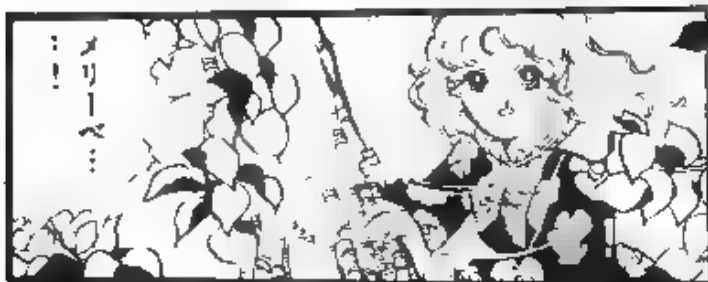
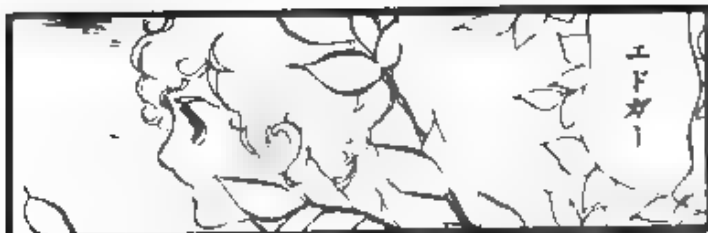


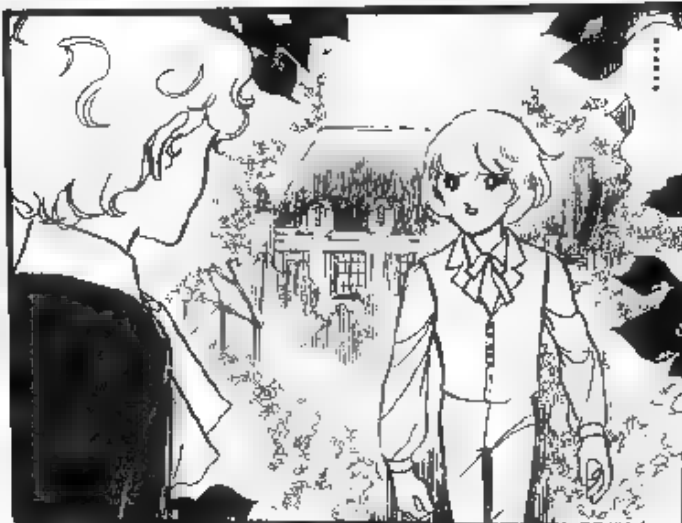
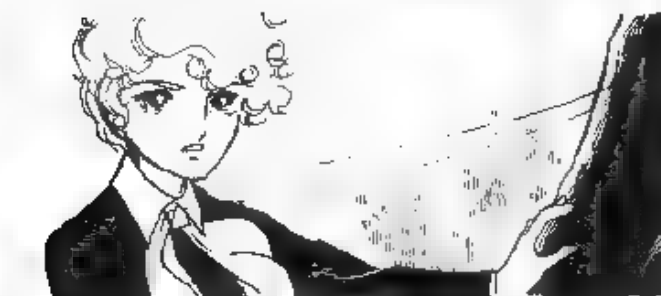
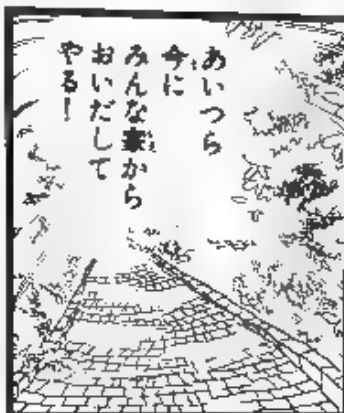






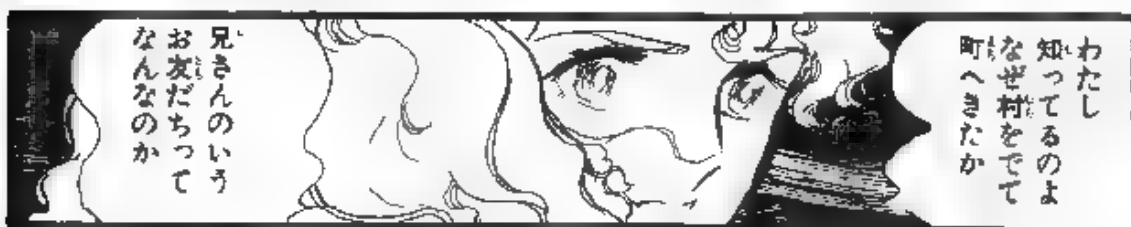




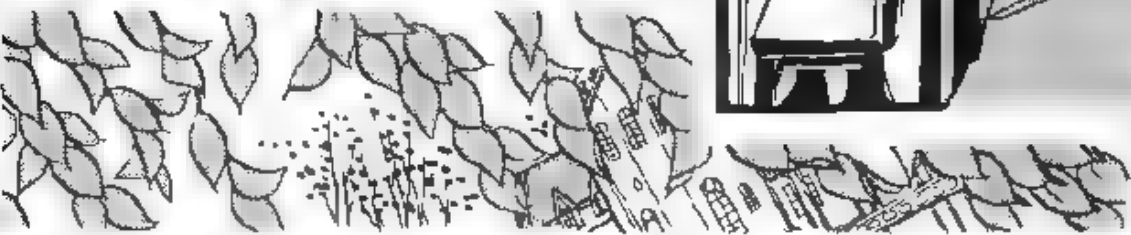


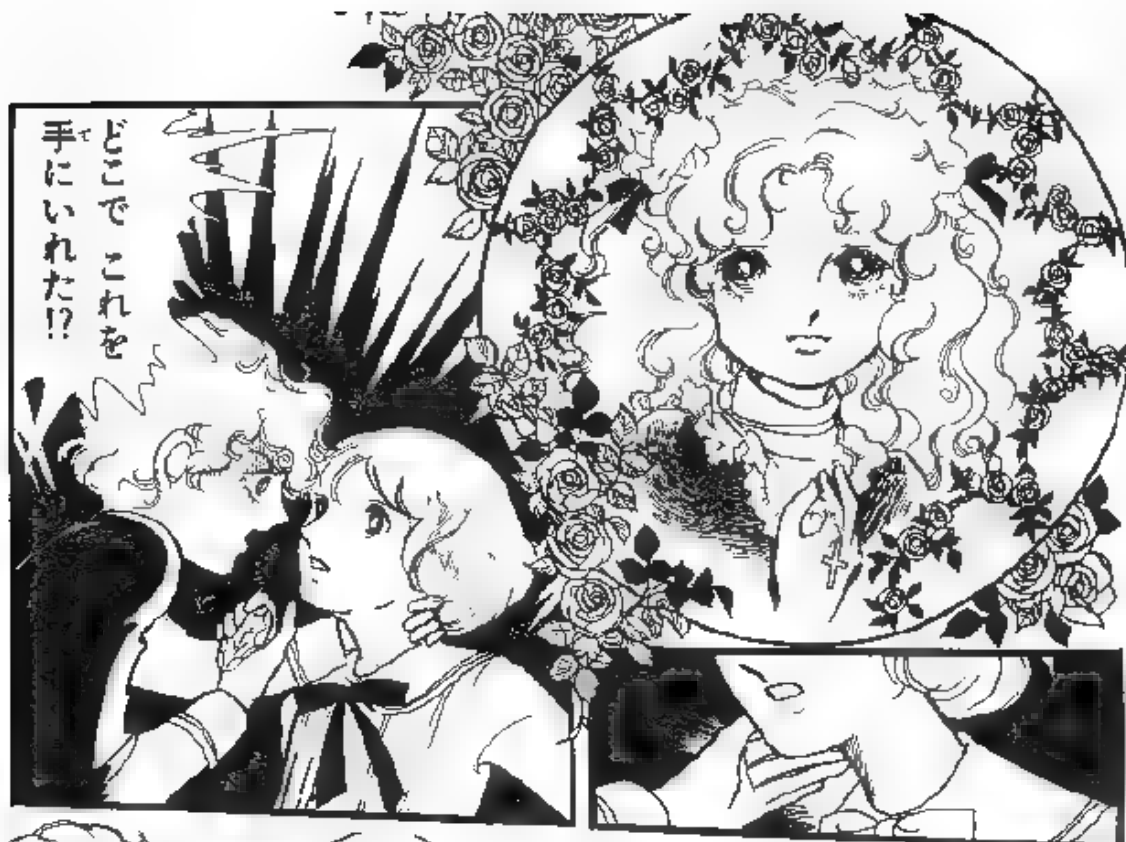












どこでこれを
手にいれた!?



：おい！
おどろいたな
これは
ロゼンティ・
エンライトだ
よ
ぼくの婚約者
だった！



：百年も
昔のことを
……まさか

メリーベルが
まだずっと
小さくて
ぼくたちが
人間だった
そんな

——ああ
アランが
知るはずは
ないんだ

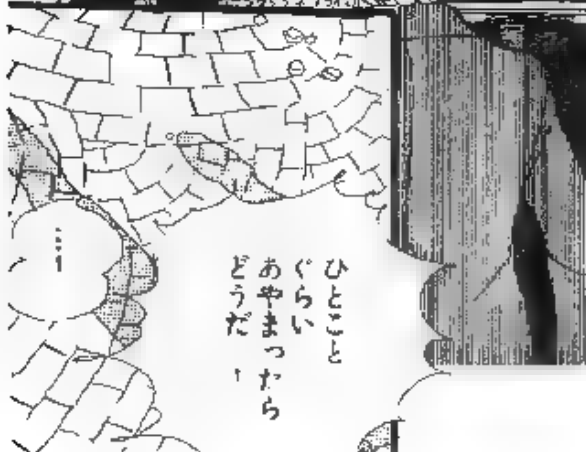
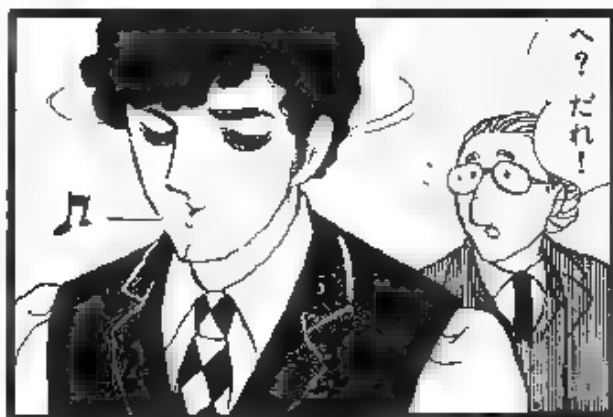


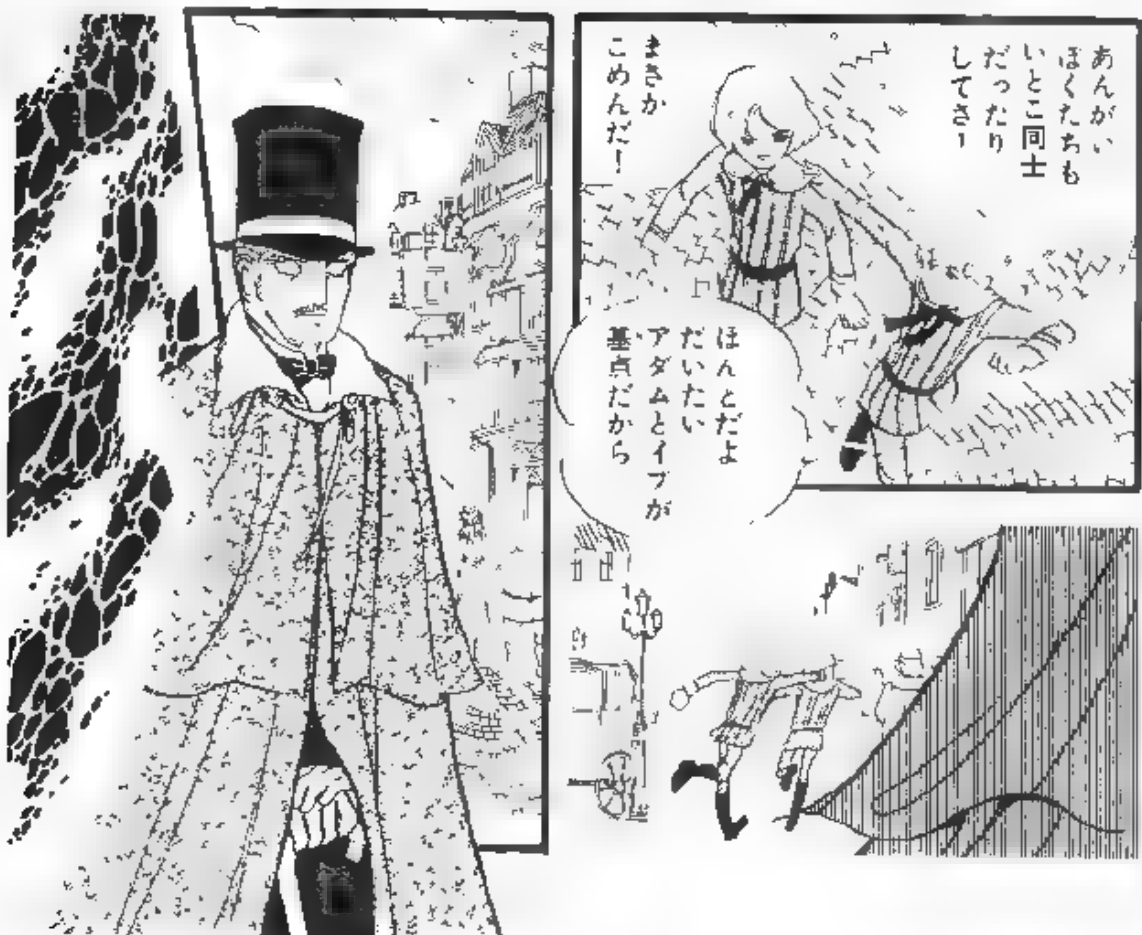
おどろいた
てっきり
メリーベルの
焼き絵かと
思ってた！

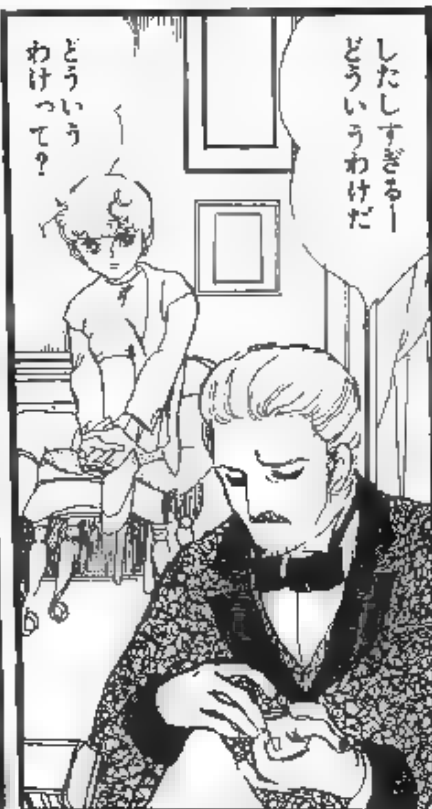
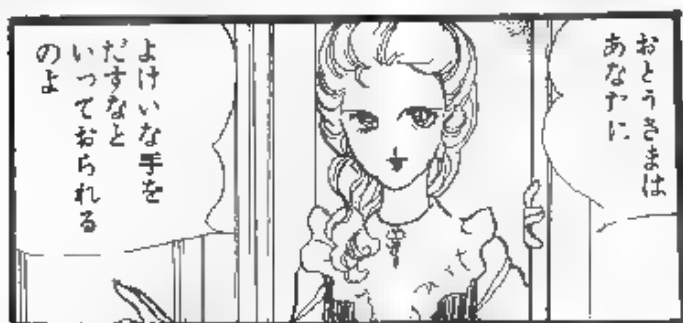
だろう？
ぼくも昨日
きみの妹を見て
びっくりした

もういない
はずの
ロザが！

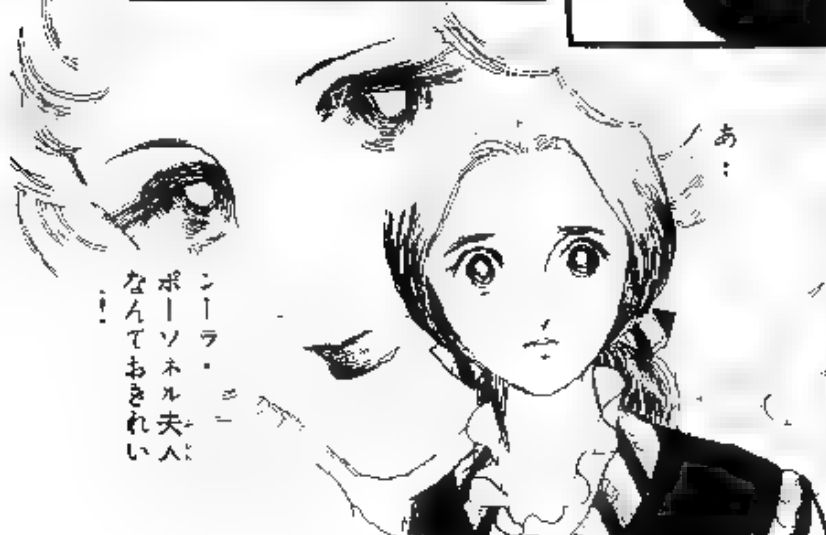
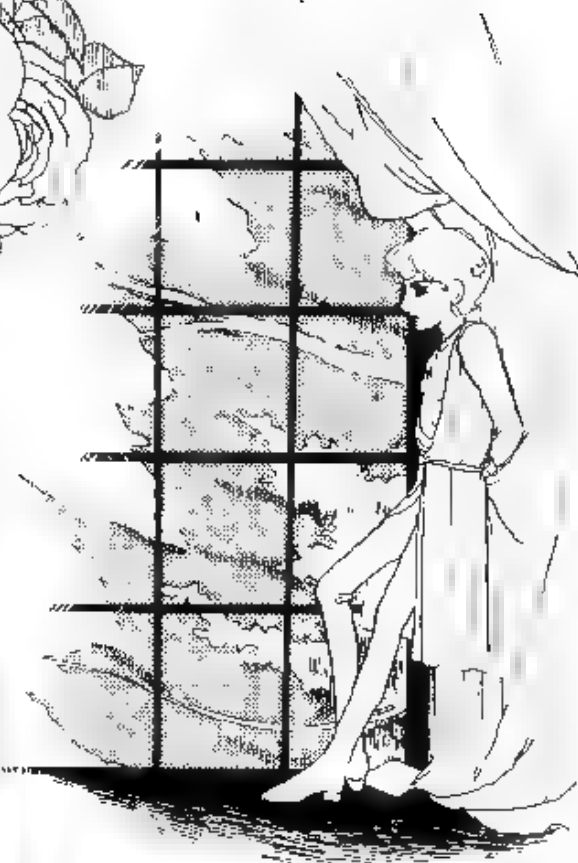










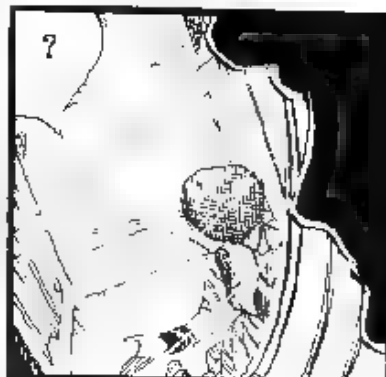


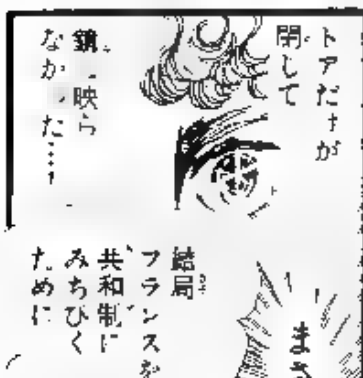


ほ
はでなタイを
しめたな
クリフオート!
夫人にいいとこ
みせるためか?

カスター先生
したくは...

か
チ
ヤ



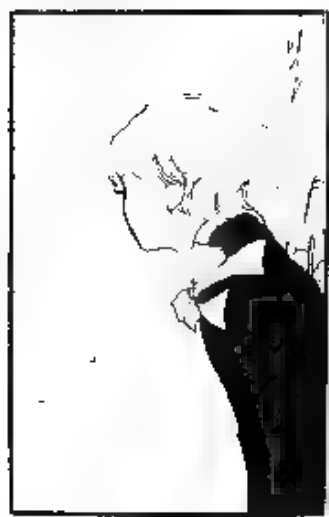
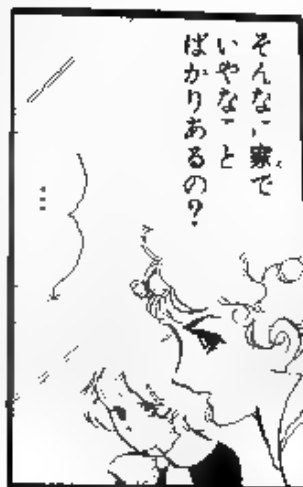














きみんちの妹
どうしてる？
マリーベル？
家にいるよ



：つれてくれば
よかったのに
の



その呪わしい族に
くえようと
いうのか



そしておまえは
愛するものを
ふたたびそのつめに
かけようとするのか



なんかい
その笑い
かた！

：フフ：



王子さま
きみか遊びに
くればいい
きみん
ちへ？
あの子は
あまり外へは
でないもの



病氣？

：うん
そうだが
：からだか





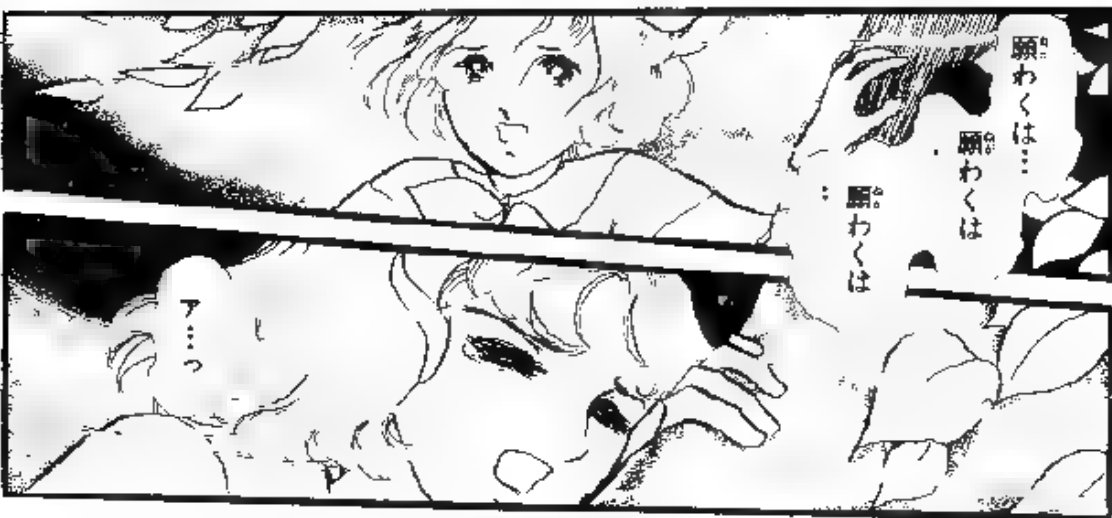
そのひびきは
金土にあまねく

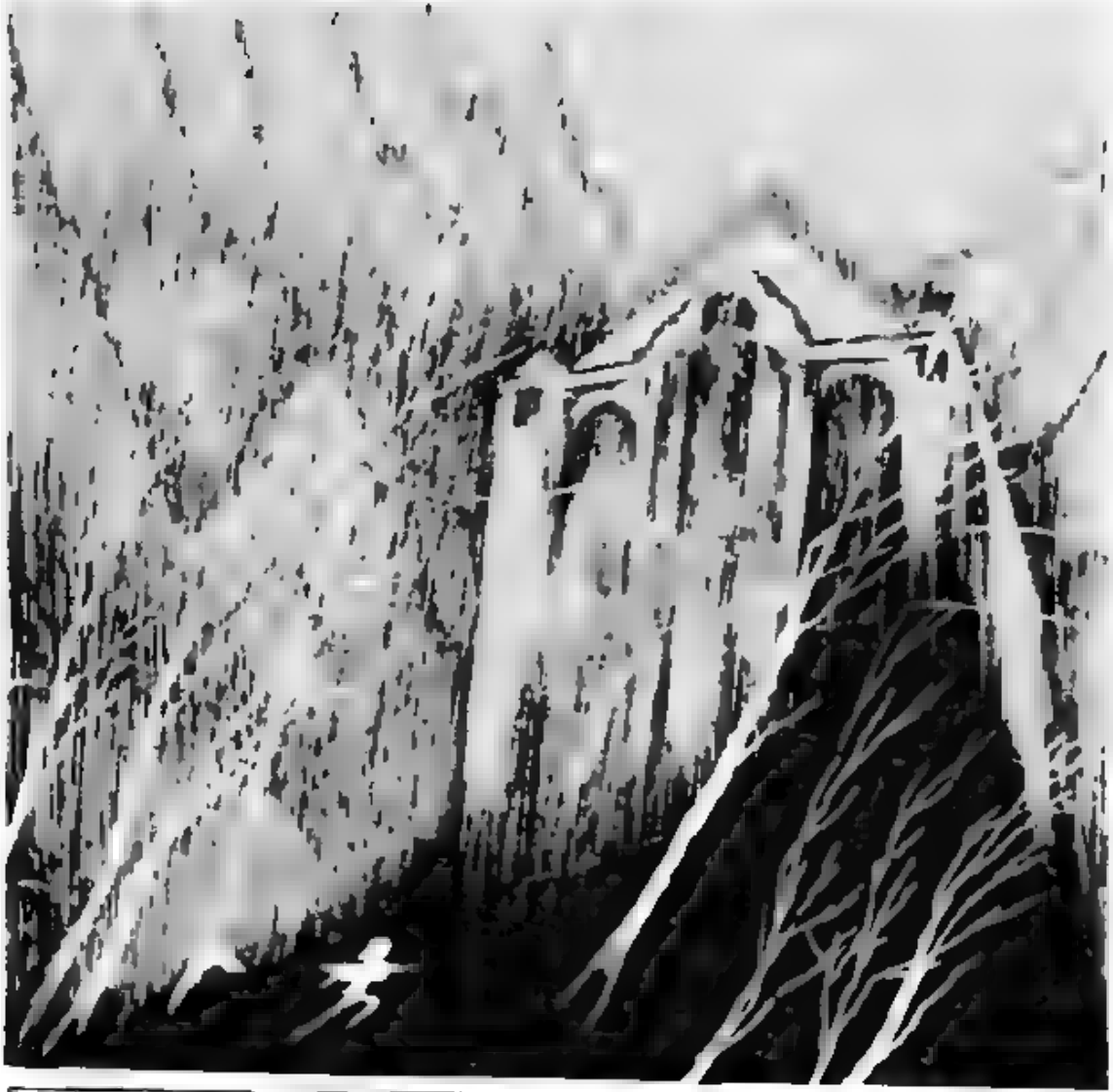


そのことばは
地の果てまで
およぶ



願わくは
われをかくれたる
トガより
ときはなち
たまえ







みことばや
十字架や
塔を
恐れるな
そんなものは
単なる象徴に
すぎん

現に
わたしはけさ
教会へいった

エドガ
帰って
たの？

あ、
メリベル
すぐいよ

恐ろしいのは
信仰だ

われわれをふくめ
いつさいの異端を
認めない心

これは邪悪な
ものだ！
これはうそで
実在せぬものだ

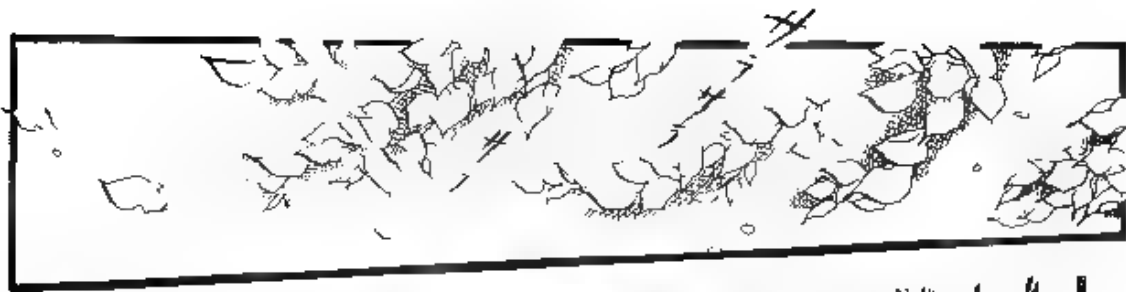
狂信している
精神は恐ろしい

だが
この市の人間は
ハンパネラなど
信じてはいない

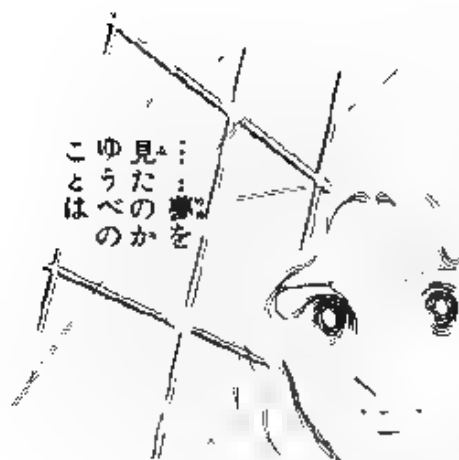
アランは……でも
うたがってるかも
しれない……

疑惑など
打ちこわせ！

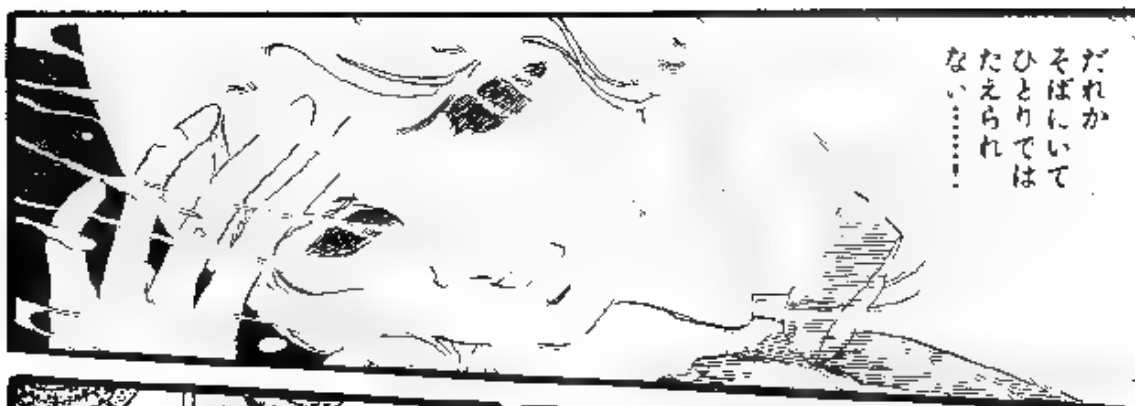
信じさせ
るな！！











だれか
そばにいて
ひとりでは
たえられ
ない……！



きみはずっと
そこにいたのかね
……ねむらずに？

中にはいっても
いい？

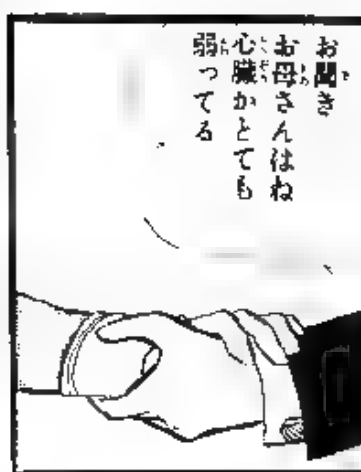


今度大きな
発作が
おきれば
……

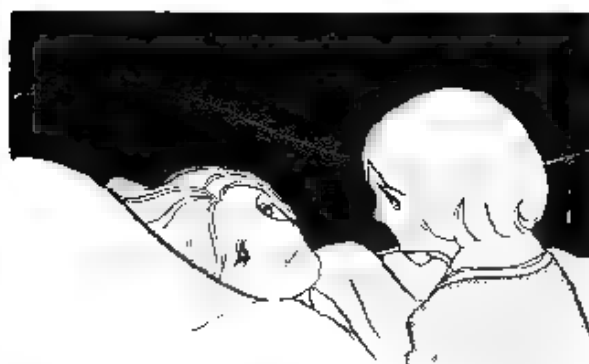


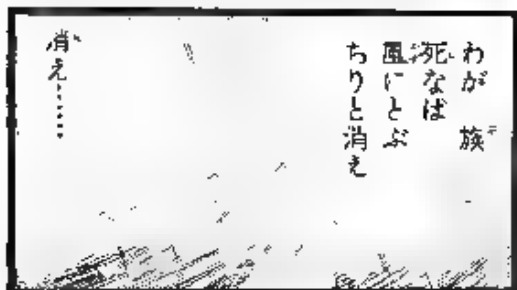
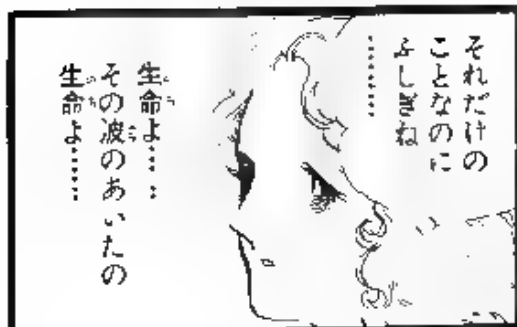
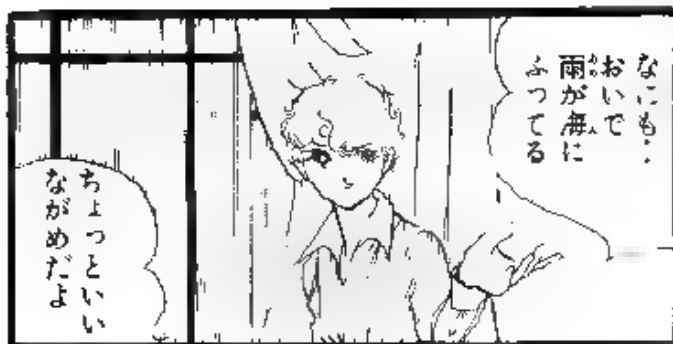
わからない
とうぶんは
安全だろうが

あと何日
もちます……？



お聞き
お母さんはね
心臓かとても
弱ってる







おしさん
話って？

まあ
ここへおいで
アッ

昨夜は
まつたく
かいへん
だったな
いちおう安心
とはいえる：



まえまえ
から、

レイチェルの
さきはなかくない
だろう
かわいそう
だが……



いった
ことな
もちろ
レイチ
賛成だ
……



おまえの
お母さん
が生きて
るうちに
マーゴツ
と結婚式
をあげた
らどうだ
ね

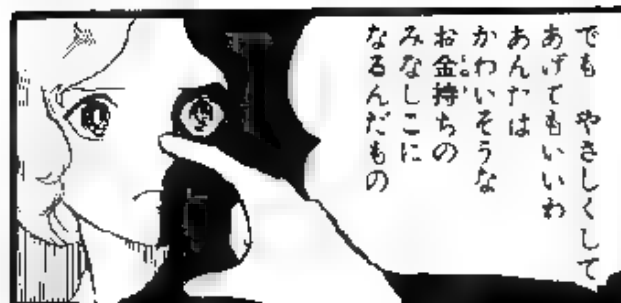


お母さん
は
おまえ
のこと
だけ
心配し
てるの
よー

まアラン
レイチェル
を安心さ
せてあげ
たくない
の



マーゴツ
とは
結婚し
ない！





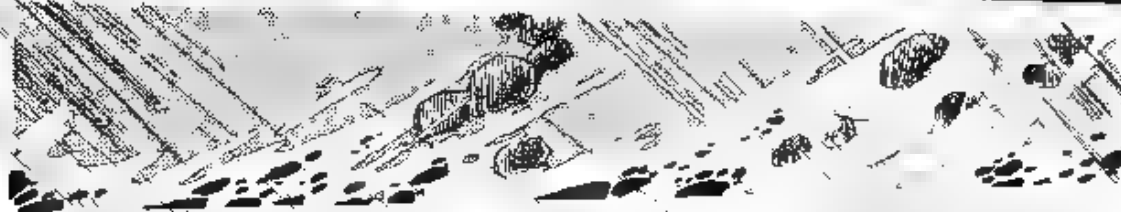
その顔はなによ
あたしみたいなの
美人にキスされて
喜んがらどう...?



ごめん
だよ!



あん！
なによ
なくさめて
あげたんじゃ
ない!





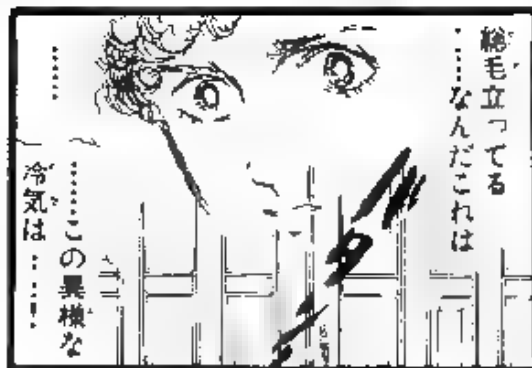


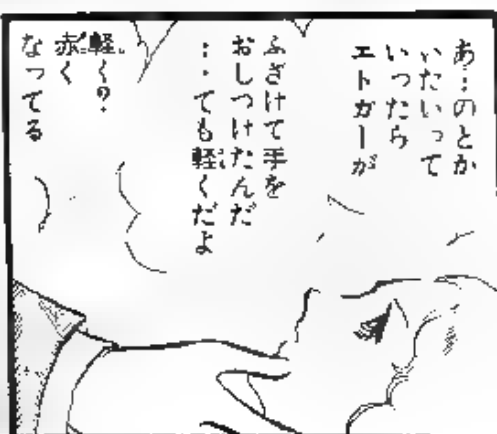


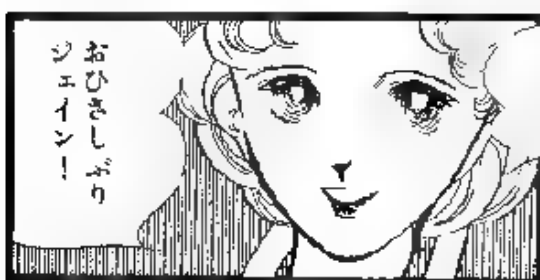












おひさしぶり
シェイン!

あら!



ハハハ



買いもの！
これこそ
女の特権よ
いらして

シェインね
おたかいの
帽子を見立てて
みませんか?



わかし
まるで
引き立て役

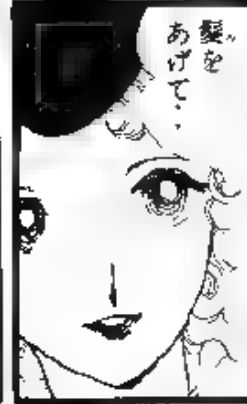
いやたわ
こんな美いかと



娘のメリーベルよ
せがむもので
つれてきたの

あなたも
帽子をの

ええ



あら！
みっともない
若い娘なんて
いやしません

髪よ ます
髪をゆって

最新流行の
ハ・スルスタイル

もちろん
ウエストは細く
胸をたして……
娘らしく……



色は……ええ
もちろん青よ！
青のタフタ



帽子は青よ
……ああ！
びつかりのを
もっていますわ
白い羽かざりの！

ほら とても
すてきになれるわ
うかんできるとでしょ
青い服を着た
あなた……

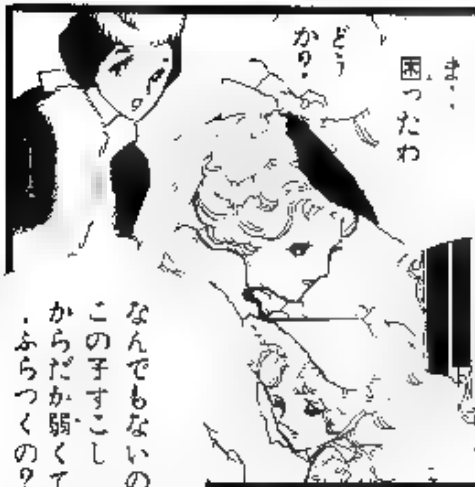


ね
あたしに
まかせて
じゃ ます……

母さま

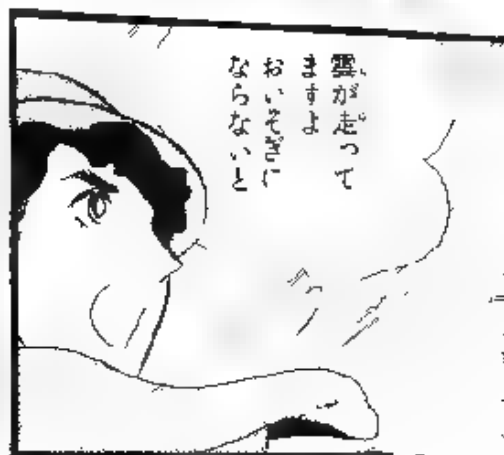
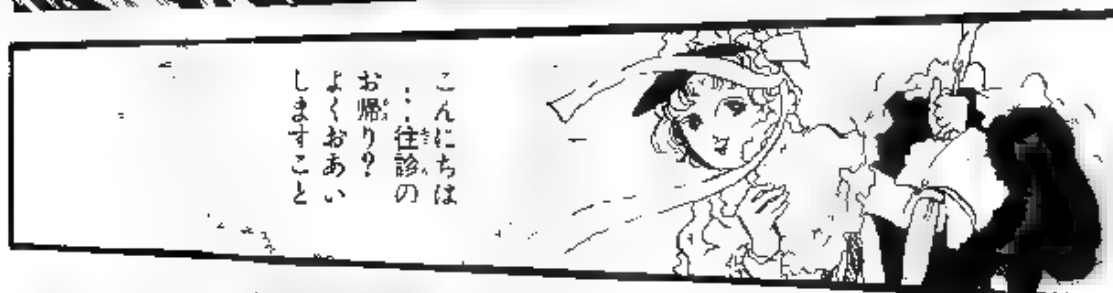


困ったわ
どう
かり



なんでもないの
この子すこし
からだか弱くて……
ふらつくの？







キリスト教の信仰のある地方では、神の怒りによって、罪人は落雷をうけて死ぬといわれている



カーテンを
ひいてくれ
エドガー
あの光は
どうも
好かん！



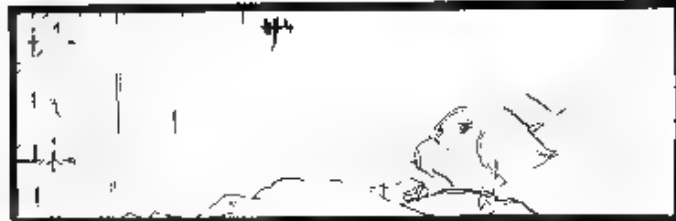
母さんと
マリベル
帽子屋へ
でか
たって？
帽子屋のうらにま
カスター老先生の
家があつて
ジェインが
いう方法だ
つまり
下見



ぼくは
好きだな
ちよいと
そつとする
けど……



ものうい……



雷が
こわいんですか
シラ夫人
ええ まるで
わかしにむかつて
走ってきそうで……



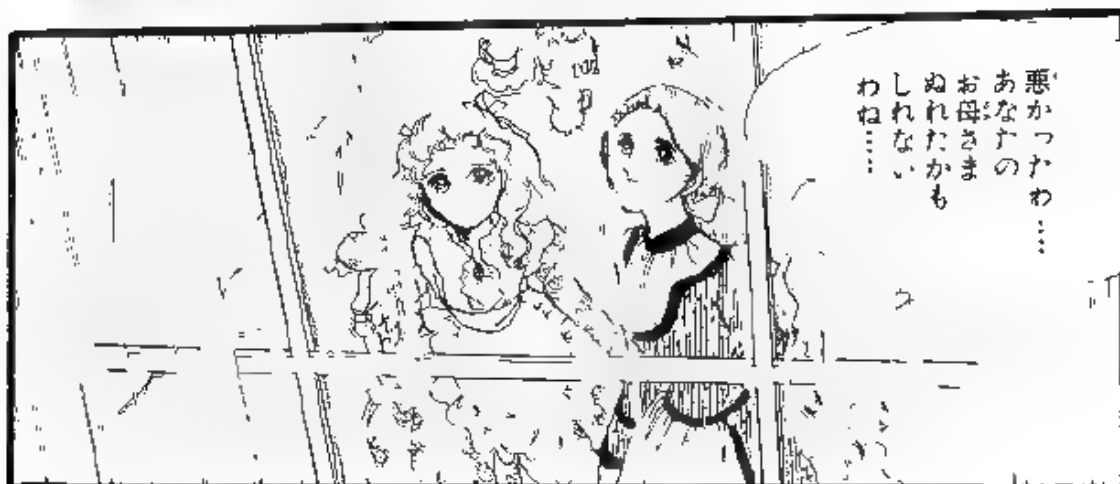
罪人のような
ことをおっしや
る
ああ
いや
気をそらせて
ほかの話を
しましようよ……
帽子屋で
ジェインと
あいましたわ



雷雨……

もう冬がくる……







伝説を
信じますか？



失礼
クノフォード
先生



：知るカ
それなら
バンパネラだ

ジェインさんは
心からおまえを
愛してるの。



動いてない

ジェインになって
おつしやるの。

人間では
ない

すべての血脈が
死んでいる

これは人間ではない



：これは夢だ！
あなたは
現実のものでは
ない
なせここに
いるのです

：あなた自身の
ためにも

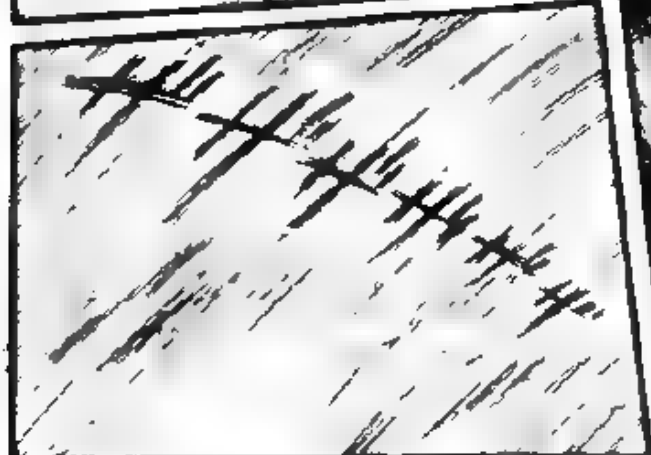




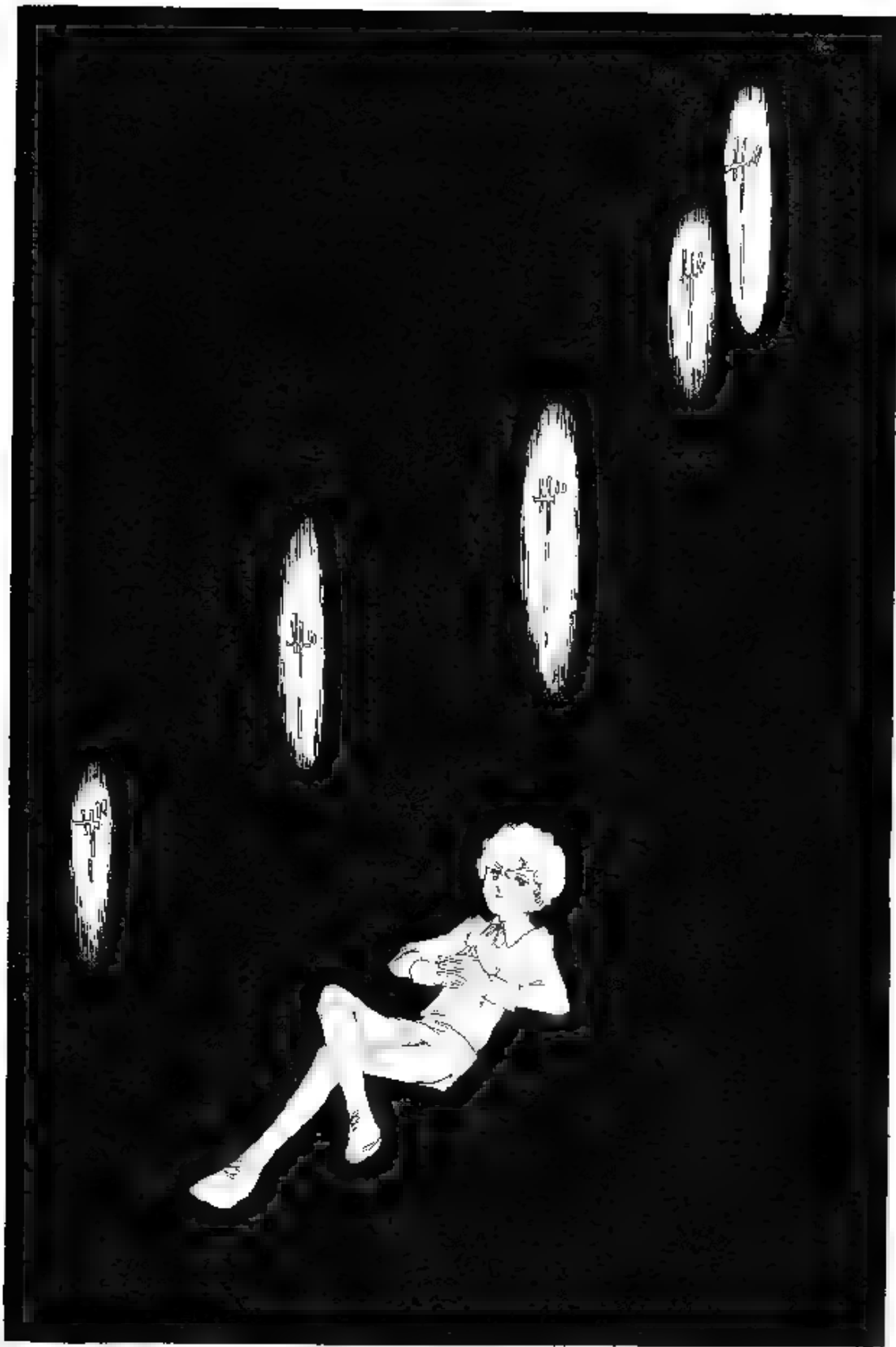
打ちか
くがね
ぼくが
これの
つとめ
たの



この…
まばろし…



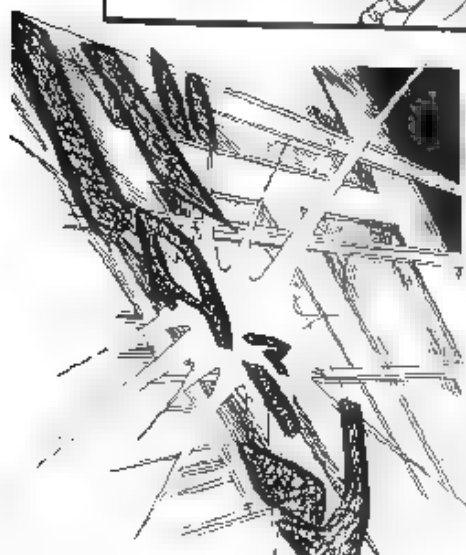
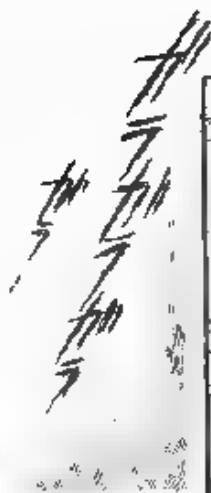




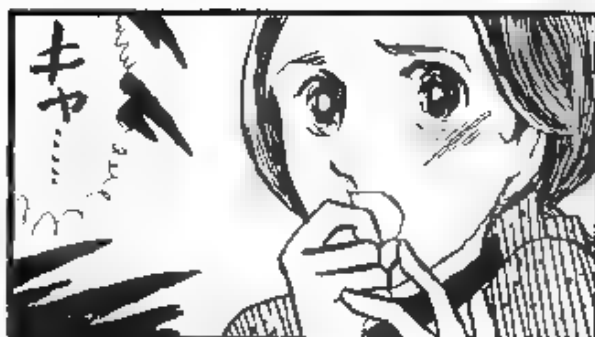


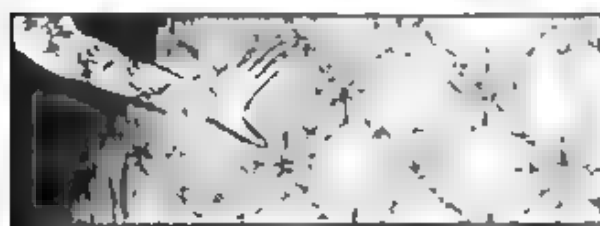


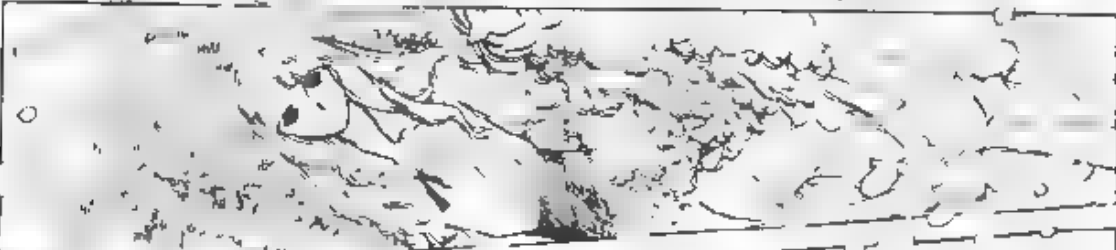
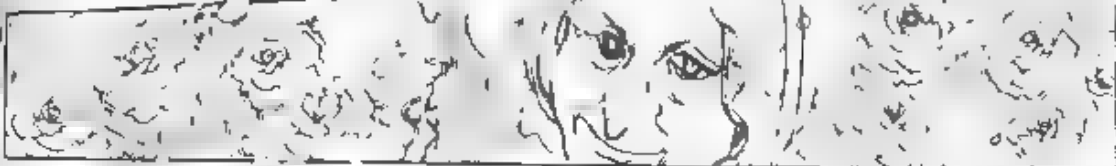
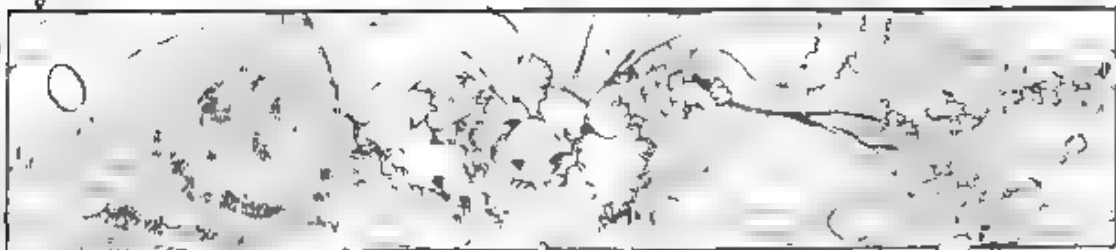
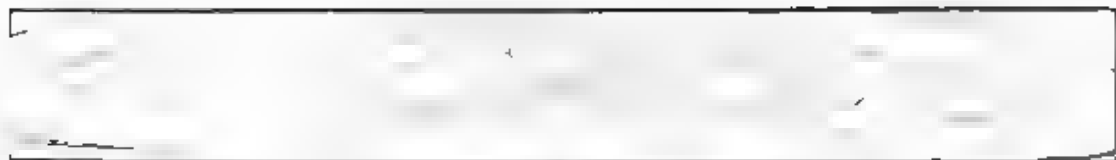










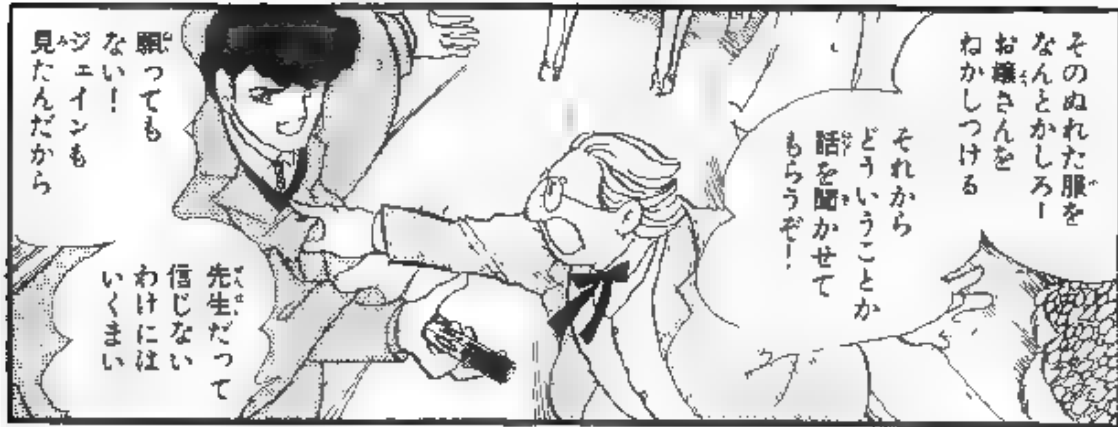






悪魔を!



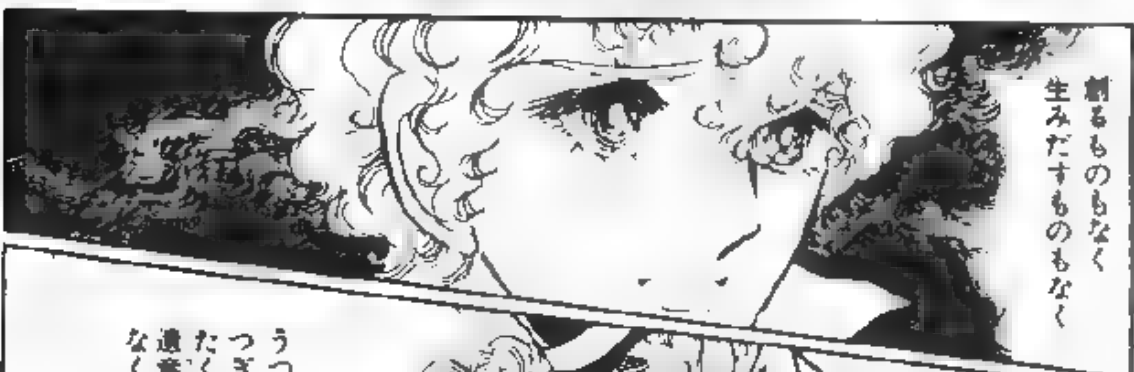
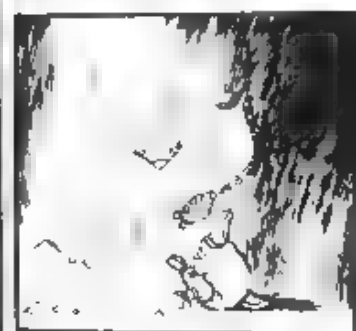






なぜ生きて
いるのかって…

それかわかればー



創るものもなく
生みだすものもなく



うつろ
つぎの世代に
たくす
遺意も
なく



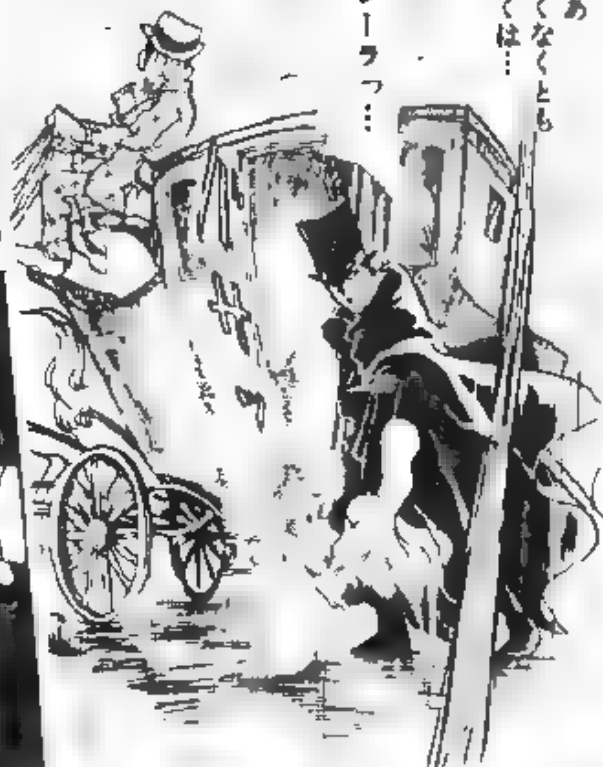
長いときを
なせ
こうして
生きている
のか

・すくなくとも
ばくは



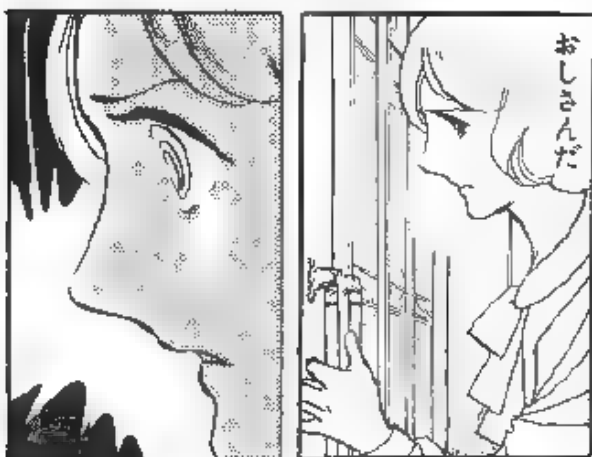
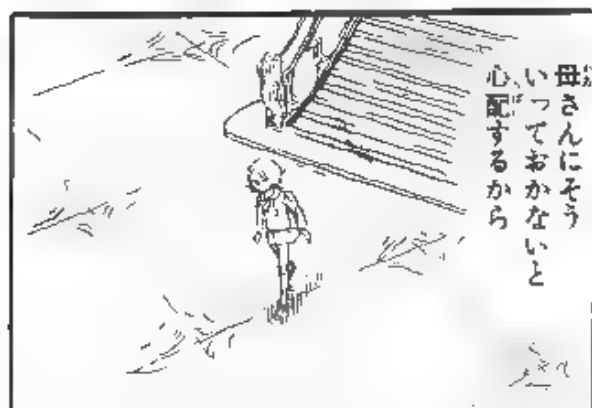
ああ
すくなくとも
はくは...

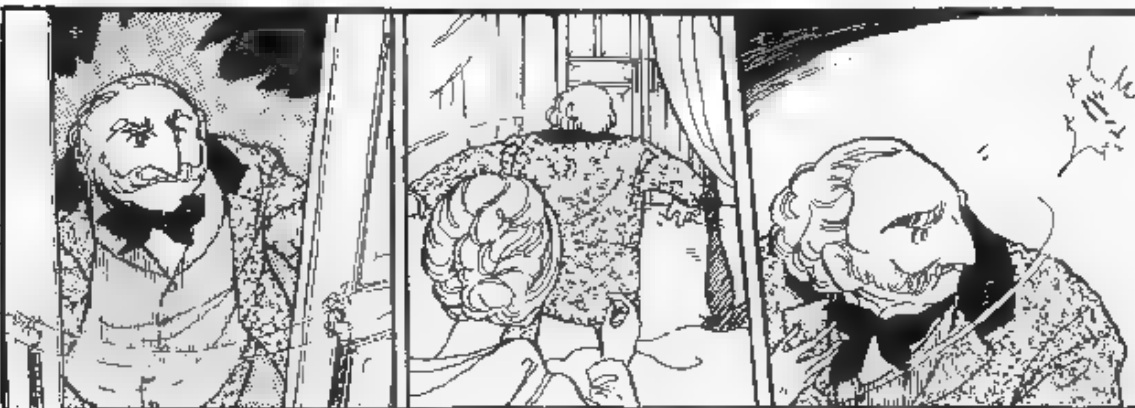
シーラフ...



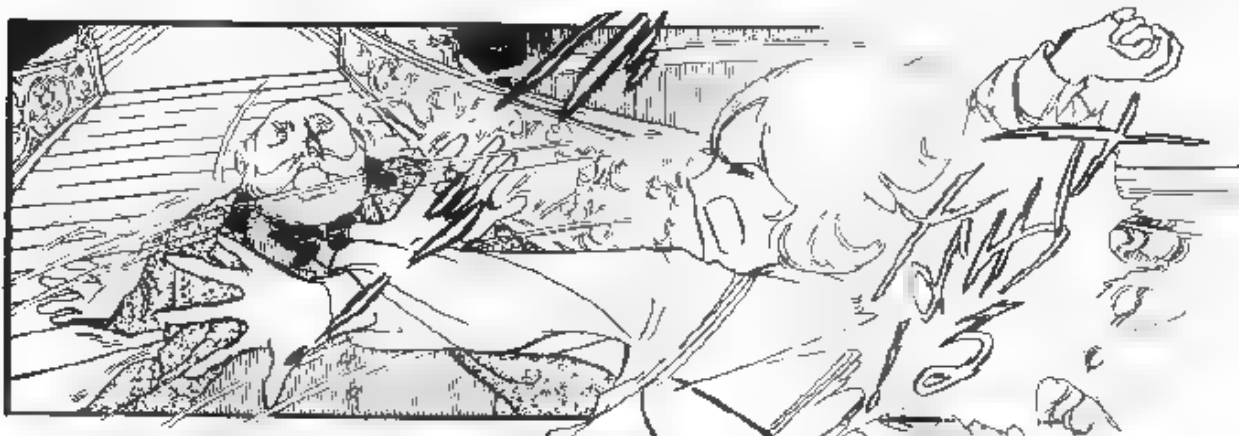
わが妻が
わが愛を
わが運命を
わがし
わがし



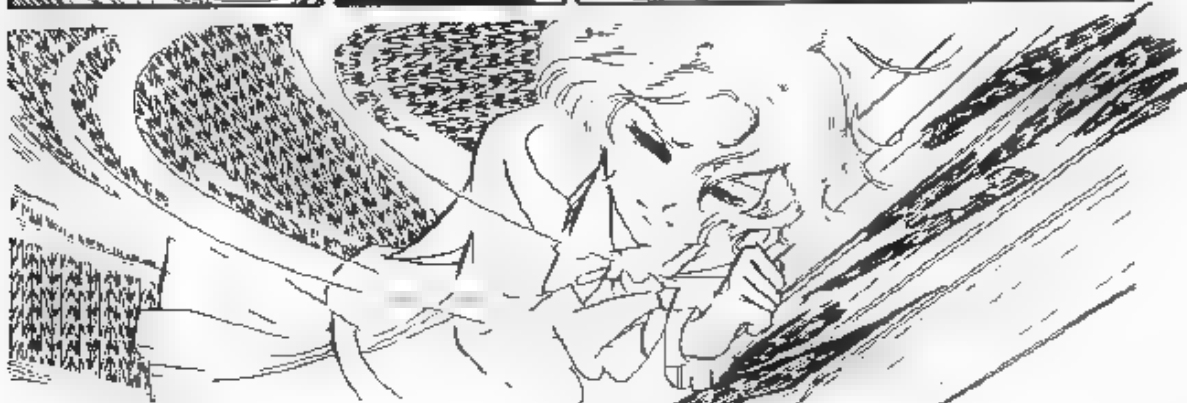




















通りすぎる
ときどきの間に
ささやき笑い
まなざしを送りかわし

夢を織る
人びとの
あいだを
走り走り

このときの
流れの果てに
なにかあるの
なら……



